TOKUYAMA
トクヤマグループ

トクヤマエムテックの補修材

超速硬型高靭性繊維補強コンクリート

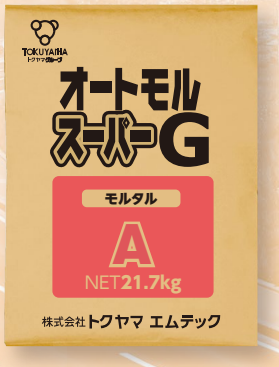
オートモルスーパーG

床版補修材

有機繊維を用いた超速硬コンクリートにより、道路橋RC床版の補修・補強工事における急速施工と床版耐久性の双方を実現することが出来ました。

特　長

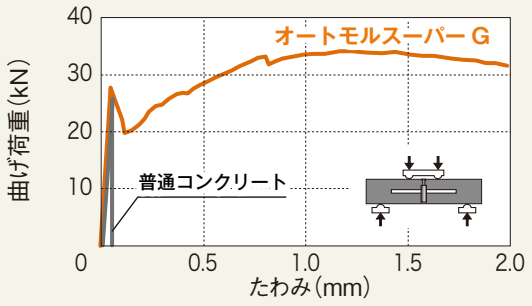
1	高靭性	曲げ・たわみ硬化特性（DFRCC）※を有する高靭性コンクリートです。
2	流動性	粗骨材は13mm以下。　棒状バイブや簡易フィニッシャーで鉄筋背面への充填が可能です。
3	作業性	汎用ミキサーで練り混ぜ可能。流動保持時間は40分。施工厚さは30mm以上。
4	一体化性	乾燥収縮が小さく既設コンクリートとの一体性が良好です。
5	早期開放性	3時間で24N/mm²以上の強度を発現します。

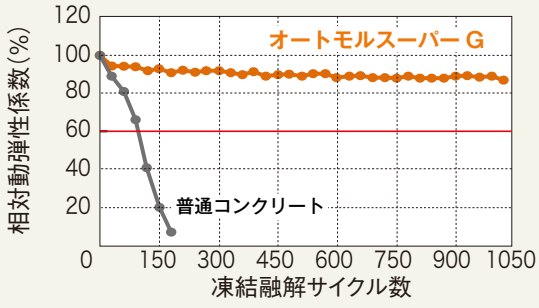


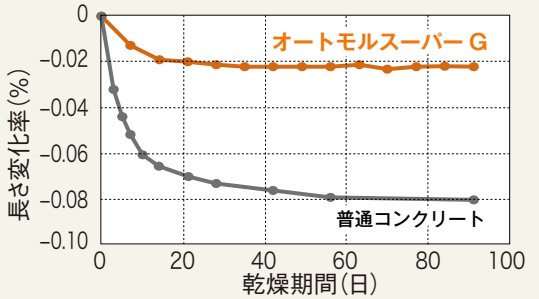
※土木学会「複数ひび割れ型繊維補強セメント複合材料　設計・施工指針（案）」に準拠

物性試験（測定例）

試験内容		材 齢	測定結果
可使時間	(min)	—	45
単位容積重量	(g/cm³)	—	2.29
圧縮強度	(N/mm²)	3hr	38.2
		28日	64.7
静弾性係数	(KN/mm²)	3hr	28.5
		28日	36.2
長さ変化率	(%)	28日	0.021
		91日	0.023
曲げ強度	(N/mm²)	28日	9.21
曲げ靭性係数	(KN/mm²)	28日	8.10







標準配合

品名		荷姿・入目	1セット当り		1m³当り※2
オートモルスーパーG	A材	21.7kg/袋	2袋（43.4kg）	練上り量約30L/セット	66袋（1,430kg）
	B材	23.0kg/袋	1袋（23.0kg）		33袋（ 759kg）
	繊維※1	0.69kg/袋	1袋（0.69kg）		33袋（ 22.7kg）
	清水	—	5.74kg		189kg

※1：繊維は練混ぜ量に応じて大（4.55kg）、中（1.38kg）、小（0.69kg）、3種類の荷姿を用意しています。
※2：打設量に応じて、フレコン対応も可能です。

株式会社トクヤマ エムテック

■ 施工手順

1 下地処理

① 施工面の浮き部、ひび割れ部やその周辺の脆弱部をはつり取り、乳剤や油分、塵埃等を除去してください。
② 上端鉄筋の防錆処理が必要な場合は、別途、事前に処理しておいてください。
③ 下地施工面との接着性確保のため、プライマーを塗布してください。
④ 型枠打設する際は、オートモルスーパーGの打設に耐えられるよう確実に組立ててください。

下地処理（接着剤塗布）

2 練り混ぜ

① 強制練りミキサーを用意し、B材（粗骨材）、A材（モルタル）の順に投入して、よく空練りしてください。
② バケツ等に所定量の清水を計量し、専用遅延剤を添加してよく混ぜ合わせ、溶解させてください。
③ ミキサーを稼働させながら清水を加え、1分程度練混ぜてください。
④ ミキサーを一旦止め、所定量の繊維を揉みほぐしながら満遍なく加え、再度2分程度練混ぜてください。

練り混ぜ（排出）

3 打 設

① 打設部にオートモルスーパーGを落として塗り広げ、空隙を残さないよう丁寧に打設してください。
② 所要の施工厚を確保した後、被膜養生剤を塗布し、コテ押えして表面を平滑に仕上げてください。
※施工規模によってはスクリードや簡易フィニッシャなどを併用すると効果的です。

打設

4 養 生

① 打設後3時間程度は、雨打たれ等による水の浸入がないように養生を行ってください。

関連商材

吸水調整材		床版用プライマー	鉄筋防錆材		超速硬モルタル/コンクリート	
アクリル系 高性能吸水調整材 リペアプライマー	モルタル接着増強剤・ 吸水調整材 キープジョンK-100	打継用接着剤 （エポキシ系樹脂）	亜硝酸リチウム系 防錆剤 リペアペースト	亜硝酸リチウム系 防錆材	超速硬 高靭性モルタル オートモルスーパー	超速硬型高靭性 繊維補強軽量コンクリート リペアミックスNEXT

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害（呼吸器系）。
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系・腎臓）。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

【保　管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。

【廃　棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【応急措置】・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。
・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート（SDS）をご確認ください。

⚠注意事項

【使用上の注意】・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気のよい場所で保管すること。

カタログに関する注意事項
・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。

株式会社トクヤマ エムテック
URL https://www.k-tokuyama.co.jp

ISO 9001 JTCCM QSCA RQ 1957 （認証範囲）https://www.jtccm.or.jp/
JAB MS CM015

本社・東日本営業Gr		103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F TEL 03-6265-1075　FAX 03-6265-1073
中日本営業Gr		573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770　FAX 072-857-1125
西日本営業Gr	中国営業所	745-8648 山口県周南市御影町1-1（株）トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201　FAX 0834-62-7202
	九州営業所	812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2 TEL 092-642-9070　FAX 0834-62-7202
首都圏セメント建材開発センター		299-0268 千葉県袖ケ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770　FAX 0438-60-8370

工　場 / 枚方工場（大阪）　袖ヶ浦工場（千葉）　九州製造拠点：（株）熊本硅砂鉱業（熊本）

販売店

2024.04.500 第7版